森林講座瓦版

本山 友衣 *Yui Motoyama*
構造利用研究領域

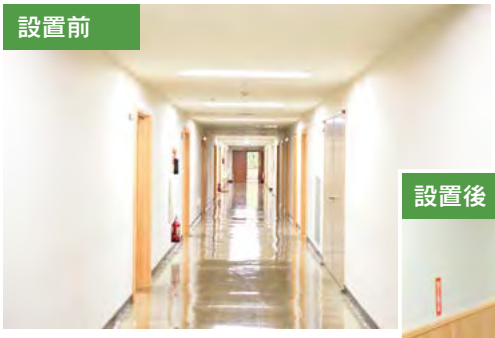
木材と心理
木質空間の快適性を考える

木造ビルなど、都市の中に多様な木質空間が生まれつつあります。私たちは木材に囲まれた空間をどのように捉えているでしょうか。快適性を測る方法として、実大の実験室で木材の量や香りを操作するような実験研究はとても重要ですが、多くの人を対象にすることが比較的容易な意識調査でもわかることが多くあります。

たとえば、内装を木質化したオフィスの利用者を対象としたアンケート調査では、多くの項目で木質化前よりも木質化後の評価が高く、心地よさや満足度については木質化直後よりも1年後に高く評価されたことが明らかになりました。同じオフィスの写真を用いて、一般の方を対象としてインターネット調査を行った場合にも、木質化前より木質化後の方が好まれることがわかりました。また、木材利用のイメージについては、80・6％の方が「とても良い」あるいは「やや良い」と回答されました。建築空間の木質化は好意的に受け入れられる可能性が高いと考えられますが、個々人の環境態度（人と環境の関係性についての一般的な信念）が木質空間の評価に影響する可能性も示唆されました。木材のもつ物理的な特性や生理応答等も含め、さまざまな視点から快適性を考えることが求められます。

（2024年7月11日開催講座より）

木材利用に関するイメージ
（自由記述から作成したワードクラウド）



内装木質化前後のオフィス
（左：木質化前、右：木質化後）

令和６年度 森林講座のお知らせ

1月17日（金曜日）
「無花粉スギの苗を大量に増やすには？」
鶴田 燃海（樹木分子遺伝研究領域）

花粉症対策のため花粉を出さないスギに植え替えるには、大量の無花粉スギ苗が必要です。遺伝的に花粉ができない苗木を細胞培養で増殖する方法を解説します。

無花粉（左）と通常（右）のスギの雄花断面

2月13日（木曜日）
「ヤナギを育てて カーボンニュートラルを目指す」
原山 尚徳（植物生態研究領域）

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、耕作放棄地に早生樹のヤナギを植栽し、3年周期で繰り返し木質バイオマスを生産する取組について紹介します。

北海道で栽培したヤナギをサトウキビ用収穫機で収穫する様子

会場◉多摩森林科学園 森の科学館
時間◉13時15分～15時

お申込み受付は各講座開催日の前月の1日から。受付は先着順で、講座開催日の1週間前が締切となります。ご希望の講座名・郵便番号・住所・氏名・電話番号・参加希望者数をご記入の上、往復はがき、または電子メールでお申込みください。お申込み1通に対し、1講座3名までの受付とさせていただきます。最新情報はホームページをご確認ください。

◆お問い合わせ
〒193-0843
東京都八王子市廿里町1833-81

多摩森林科学園
電話：042-661-1121

▲森林講座申込み

HP：https://www.ffpri.affrc.go.jp/tmk/index.html **E-mail**：shinrinkouza@ffpri.affrc.go.jp